

令和 元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	箕輪町
------	-----

No.	事業項目	事業名
1	「みんなの暮らしと守る森林づくり」に関する事業	松くい虫被害木利活用事業
事業費 1,150,600 円		(うち支援金: 981,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫による松枯れの被害が発生しており、伐倒くん蒸処理をした処理木が山林内に残されている。その処理木が崩れ落ち、人や道路等に被害をもたらされることが懸念され、特に道沿いの傾斜地に残された処理木の処置が課題となっている。

(2) 本事業の目的

崩壊・落下すると人や道路に被害をもたらす可能性のある場所に残された処理木を搬出、加工（ウッドチップ、ベンチ、机等）し活用する。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所

町道 13 号線（観光地萱野高原への主要道路）、主要地方道伊那辰野停車場線沿いの私有林

(2) 対象者

森林所有者の同意を得て、箕輪町で実施予定

(3) 実施方法

主要道路沿線の森林所有者に同意を得たのち、残された処理木を搬出、加工（ウッドチップ、ベンチ、机等）し、町内の自然公園等で活用する。

(4) 事業目標及び当年度事業量

① 全体計画（令和元年 ～ 5 年度：5,000,000 円（1,000,000 円）

② 令和元年度実績：1,150,600 円

搬出前



搬出後



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

危険視されていた主要道路沿いの傾斜地の処理木を除去し、処理木の崩壊・落下により起こり得る事故を未然に防いだ。また、増加しつつある松枯れ被害の処理木の利活用促進に取り組んだ。ウッドチップ化した処理木は、町内自然公園のウォーキングコース等の整備に活用予定で、地域住民等が森林に親しみ、健康増進を図ることができる。

(2) 継続性

松枯れ被害の処理木は年々増加しており、主要道路沿いの傾斜地以外においても、安全性や景観面から、処理木を除去し利活用促進に取り組む必要がある。

(3) 普及性

道路通行者の危険回避と山林所有者の不安を解消した。

事業の検証及び評価

(実施果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

処理木の崩壊・落下による事故を未然に防ぎ、山林所有者の不安も解消し、目的に沿った効果的な事業実施となった。

(2) 課題

危険視していた道路沿いの処理木はある程度搬出できたため、別の搬出箇所の選定が必要となるが、搬出可能な場所（重機が入れる場所）に限られる。

ウッドチップは活用方法に限りがあるため、幅広い活用方法の検討が必要。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

搬出箇所、需要のある活用方法を再検討し、事業を継続する。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)